



海には、どうして満ち潮と引き潮があるの

月や太陽が海水を引っ張る

海面の高さが、高くなったり、低くなったりすることを、潮の満ち干といいます。海面が高くなっていくときを、満ち潮といい、海面が低くなっていくときを、引き潮といいます。また、海面がいちばん高くなったときを、満潮、いちばん低くなったときを、干潮といい、満潮から次の満潮までの時間は、約12時間25分です。

潮が、満ち潮になったり、引き潮になったりするのには、月や太陽の引力が、海水を引っ張るためです。

海水は、月があるほうに、引っ張られてもり上がり、また、反対側ももり上がります。地球は、月といっしょに、月と地球の重心を中心として回っているのので、月と反対側にも力を受け、反対側の海水も引っ張られるのです。

海水が引っ張られたほう（反対側も）が、満ち潮

海水が引っ張られたほうと、その反対側は、満ち潮になります。また、海水が引っ張られていないほうは、引き潮になります。

潮の満ち干が、特に大きいときを大潮といい、小さいときを小潮といいます。

太陽・月・地球がまっすぐに並ぶときは、大潮になり、地球をはさんで、太陽と月が直角の方向に並ぶときは、小潮になります。（監修・国司 真）

